

科目区分：外国語科目（ドイツ語）

授業科目名	ドイツ語 ・					学期	曜日	校時
英語名	German ・							
担当 教官名	目正勝	単位数	1単位	必修 選択	必修	前期 後期	木曜日 木曜日	3校時 3校時
授業のねらい・内容・方法								
<p>初級文法の基礎の上に、物語などのドイツ語文章を読んでゆく力を身につける。 2冊の教科書を読む。前期は、文法をさらによく理解するために、練習問題をかねた、短くまとめられた童話3篇をとりあげる。それを読み終えたあと、スウェーデンの女流作家アストリッド・リンドグレンの「長くつ下のピッピ」（1944年）のドイツ語訳を読む。 後期も前期に続いて「長くつ下のピッピ」を読み進んでゆく。文法をいくつか焦点をしぼってとりあげる。どちらのテキストも平易なドイツ語で書かれているので、自分で辞書を引きながらどんどん読んでゆくことができる。教室では和訳を発表してもらい、それを検討することが中心になる。 テープを聞いて単語の発音や文章の朗読の練習もおこなう。</p>								
テキスト、教材等								
テキストは2冊使用する。 『童話で学ぶ初級ドイツ語文法読本』 清水威能子 他著、朝日出版社 『長くつ下のピッピ』 稲木勝彦 編、 行人社								
対象学生	成績評価の方法				教官研究室			
2F27	定期試験（約90%）および平素の学習成績、授業への参加状況等（約10%）を考慮して評価する。							
授業計画								
先に のテキストの方から読む。12課に分かれているので、1回に1～2課ずつ（課末の練習問題も含めて）進む。前もって4～5人の人に和訳を割り当てておくので、その人はよく調べて来なければならない。 のテキストの方は、1回に1ページ半ぐらいずつ読んでゆく。								
前期								
第一回	1～2課	動詞の現在、格変化など						
第二回	3～4課	再帰動詞						
第三回	4～5課							
第四回	6課	形容詞、分離動詞など						
第五回	7課							
第六回	8課							
第七回	9課							
第八回	10課	受動態、関係代名詞、						
第九回	11課	接続法など						
第十回	12課							
第十一回～第十五回 「長くつ下のピッピ」 1～10頁								
後期								
第一回 ～ 第十五回								
前期に続いて「長くつ下のピッピ」を読んでゆく（11～45頁）。 文法では、とくに重要動詞の3基本形、現在完了、接続法、また代名詞の用法などに焦点をあてる。								